

脱炭素の持続的スキーム ～自然環境と経済の視点から～

脱炭素社会の実現に向けた取り組みは、企業・行政・個人など様々な主体において活発化しています。脱炭素の取り組みを持続的なものにするためには、**自然環境の保全**との両立、ならびに**経済活動**や**地域活性化**とのリンクが不可欠です。本シンポジウムでは、脱炭素と自然環境保全を両立させる具体的な取り組みの例を共有した上で、経済や地域への繋げ方について議論します。

1. 趣旨説明

西廣淳（国立環境研究所）・安立美奈子（東邦大学）

2. 話題提供 ブルーカーボンに関する取り組み

桑江朝比呂（海上・港湾・航空技術研究所／
ジャパンブルーエコノミー技術研究組合）

3. 話題提供 バイオ炭に関する取り組みの紹介

岸本文紅（農業・食品産業技術総合研究機構）

4. 企業・行政関係者を交えた意見交換会

話題提供者

関崎悠一郎（デロイトトーマツグループ マネージャー）

松下芳伸（大阪府阪南市未来創生部 部長）

日時：2023年11月20日（月）13:15～16:15

会場：東京大学山上会館「大会議場」

定員：90名（先着）

参加費：無料

事前登録：下記のアドレスまたは右のQRコードから
Google formに登録して下さい



https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdcC-OK68yd2J-RbcJ-2VRqeh_LIYEv-fFDGPDDrmQ1cv6LPQ/viewform

主催：

- ・環境省環境研究総合推進費2-2302「気候変動適応と緩和に貢献するNbS－流域スケールでの研究－」
- ・内閣府SIPスマートインフラマネジメントシステムの構築e-1「魅力的な国土・都市・地域づくりを評価するグリーンインフラに関する省庁連携基盤」

問合先：西廣淳（国立環境研究所 気候変動適応センター 副センター長）
nishihiro.jun@nies.go.jp